

Injury Alert (傷害速報) 類似事例

リチウムコイン電池の誤飲による食道粘膜損傷

(No. 13 リチウム電池の誤飲による食道粘膜損傷の類似事例 4)

事 例	年齢：1歳1か月 性別：女児 体重：8kg 身長：72 cm	
傷害の種類	誤飲	
原因対象物	リチウムコイン電池 (CR2016)	
臨床診断名	食道潰瘍	
医 療 費	709,960 円	
発 生 状 況	発生年月・時刻	2019年4月X日(日) 午後0時00分頃
	発生時の詳しい様子と経緯	電子体温計に使用していた使用済みリチウムコイン電池をダイニングの食器棚に直接置いていた。置いてあった場所は児の手の届かない場所であったが食器棚には扉がなく、いつの間にか床に落ちていたようであった。食器棚付近で遊んでいた児が上記時刻に突然咳き込み、口の中に手を入れる様子があったが、すぐに落ち着いたので初めは誤飲に気づかなかった。昼食摂取時、摂取後にも間欠的に咳き込み、啼泣が見られたため午後4時に医療機関を受診した。
治療経過と予後	受診時に撮影した胸部単純X線写真で double ring sign を伴う円形異物を認め、集中治療室へ入院となった。同日、全身麻酔下に内視鏡的摘除術を行った。上部食道にリチウムコイン電池を認め、午後5時30分に速やかに摘除された。同部位に穿孔所見は認められなかったものの、深い潰瘍形成を認めた。内視鏡下に愛護的に経口胃管を留置し、処置を終了した。術後は絶飲食のまま鎮静、人工呼吸管理を継続した。入院翌日に上部消化管内視鏡による再検査を施行し、食道穿孔がないこと、潰瘍所見の改善を確認後、同日に抜管した。一般病棟へ転棟し、経口胃管よりミルクとプロトンポンプ阻害薬の注入を開始した。唾液の嚥下は問題なかったため入院2日目より飲水を開始した。絶食管理は継続し、入院9日目に全身麻酔下に再度内視鏡検査を行った。食道狭窄なく潰瘍の治癒が進んでおり、同日より中期離乳食から食事を開始した。入院10日目には後期離乳食も摂取できたため退院とした。退院7日目、外来受診時には症状なく普通食が摂取できていた。退院50日目、外来受診時も症状なく、終診とした。	

Injury Alert (傷害速報) 類似事例

アルカリボタン電池の誤飲による消化管異物

(No.13 リチウム電池の誤飲による食道粘膜損傷の類似事例 5)

事 例	年齢：1歳11か月 性別：男児 体重：13.9kg 身長：86.8cm	
傷害の種類	異物誤飲	
原因対象物	アルカリボタン電池 LR41 直径8mm 高さ4mmの円柱 (図1) ※マジックライトペンの内蔵電池 (図2)	
臨床診断名	アルカリボタン電池による消化管異物	
医 療 費	11,600円	
発 生 状 況	発生場所	マジックライトペンは、自宅の居間にある高さ120cm程度の棚の上に、箱に入れて置いていた。棚は患児が手を伸ばせば届く高さであった。
	周囲の人・状況	父母本児の3人暮らし。午前7時半頃父が自宅を出る際には、本児は特に普段と変わりなく遊んでいた。午前9時に母が起床した際、本児は居間で遊んでおり、フタの開いたペンが床に落ちていた。
	発生年月・時刻	2019年10月X日(金) 午前9時00分
	発生時の詳しい様子 と経緯	数か月前におもちゃのマジックライトペンを入手した。対象年齢は6歳以上と記載されていた。 上記時刻に、ペンを入れていた箱と中に入ったはずのペンが居間の床に落ちているのを母が発見した。ペン内臓電池の入っているフタが開いており、3つ入っていたボタン電池は、1つしか残っていなかった。本児は機嫌よく無症状であったが、電池を誤飲した可能性があると考え、医療機関を受診した。X線検査でボタン電池が胃と小腸に1つずつ認められ、高次医療機関へ紹介となった。
治療経過と予後	紹介先の医療機関を受診時、バイタルサインは正常で、本人は機嫌良好であった。来院時点(午前10時半)ではX線写真上ボタン電池は同部位にあったが、同日午後2時のX線写真では2個とも腸管まで進んでいたため、そのまま経過観察とした。帰宅後も特に腹部症状は認められず、X+1日に便とともに2個排出された。 おもちゃを入手した時、電池が入っているフタは、乳幼児では簡単に開けることができない仕組みになっていた(図2)。本児は歯でものを咬む癖があり、電池のフタ部分の強度が低下し、幼児でも簡単に開けることができるようになっていたため、本事例が発生したと推測される。	

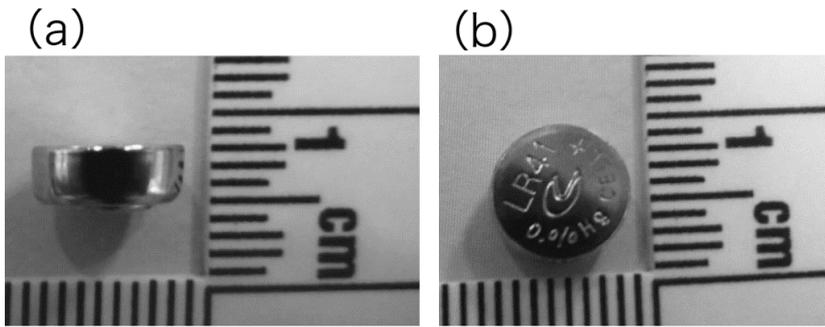


図1 対象となったアルカリボタン電池

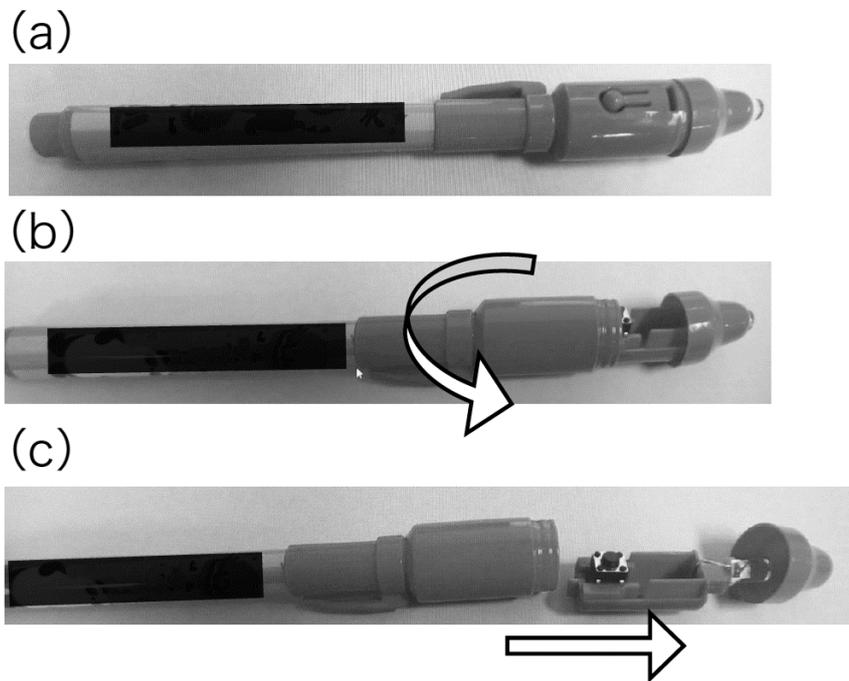


図2 アルカリボタン電池が入っていたマジックライトペン。(a) から反時計回りに回転させ (b)、長軸方向へペンの頭部を引っ張る (c) と電池の入ったフタが開く仕組みである